

特集展示

開高健

杉並での足跡

準常設展「杉並文学館」

— 井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士 —



会期▶

前期 令和8年 5月2日(土) ~ 6月28日(日)
後期 令和8年 7月4日(土) ~ 8月30日(日)

撮影：桐山隆明

杉並区立郷土博物館本館 特別展示室

【開館時間】午前9時~午後5時

【休館日】毎週月曜日・毎月第3木曜日（※祝日・休日の場合は開館、翌平日休館）

【観覧料】100円（中学生以下・障害者手帳等を提示する方およびその付き添いの方は無料、20名以上の団体1人80円）



 杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum

特集展示

杉並での足跡 開高健

大きな仕事を数多く残しています。また、師と仰いだ井伏鱒二との交流も、開高に大きな影響を与えました。開高にとって重要な時期であった杉並での足跡を振り返ります。

開高健が杉並に移り住んでから、今年でちょうど70年になります。大阪で葺屋（現・サントリー）の宣伝部に所属していた開高は、昭和31年（1956）11月に東京転勤となって杉並区向井町（現・下井草）の社宅に転居して以降、

昭和49年（1974）12月に神奈川県茅ヶ崎市へ移るまで、杉並で暮らしました。この間、昭和33年（1958）に『裸の王様』で芥川賞を受賞、昭和39年（1964）から翌年にかけて戦時下のベトナムを取材するなど、

前期 5/2(土) ▶ 6/28(日)

- ・小説家として、コピーライターとして
- ・杉並からベトナムへ

後期 7/4(土) ▶ 8/30(日)

- ・井伏鱒二との交流
- ・『フィッシュ・オン』から『オーパ!』へ

関連イベント

① 講演会

「輝ける闇－開高健の生涯と作品－」

講師 平松信実氏（公益財団法人開高健記念会理事）
日時 5月30日（土）午後2時～午後4時
定員 50名（事前申込制）
会場 郷土博物館本館 視聴覚室



申込期限
4月30日（木）
【はがきは必着】

「河は眠らない
－ナチュラルリスト開高健の生涯－」

講師 菊池英則氏（開高健記念文庫主任）
日時 7月25日（土）午後2時～午後4時
定員 50名（事前申込制）
会場 郷土博物館本館 視聴覚室



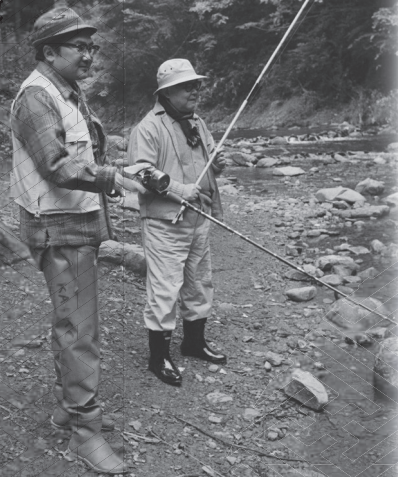
申込期限
6月30日（火）
【はがきは必着】

② 学芸員による展示解説

日程 5月23日（土）、6月20日（土）、
7月18日（土）、8月29日（土）
展示会場にて午後2時～午後2時30分（申込不要）

準常設展
「杉並文学館」

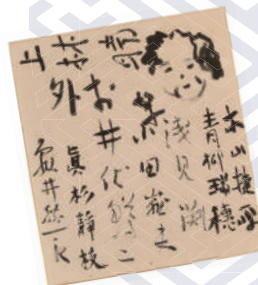
井伏鱒二と 阿佐ヶ谷文士



釣行二人（井伏鱒二と開高健）
写真提供：文藝春秋



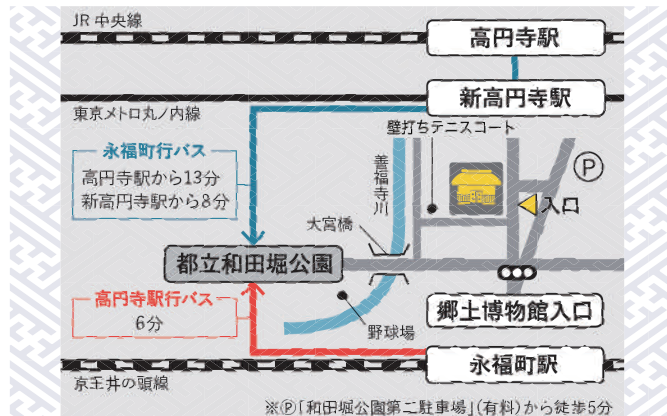
井伏鱒二
「豊多摩郡井荻村（七）阿佐ヶ谷将棋会」原稿



阿佐ヶ谷会会員
寄せ書き色紙



井伏が後年愛用した京竿（上） 関東竿（下）



【アクセス】

- ▶ 京王井の頭線「永福町」駅北口から徒歩15分又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分
- ▶ JR中央線「高円寺」駅・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅から「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分
- ▶ 東京メトロ丸ノ内線「方南町」駅1番出口から徒歩20分

【観覧料】100円

（中学生以下無料／観覧料20名以上の団体は1名80円／障害者手帳等を提示する方およびその付き添いの方は無料）